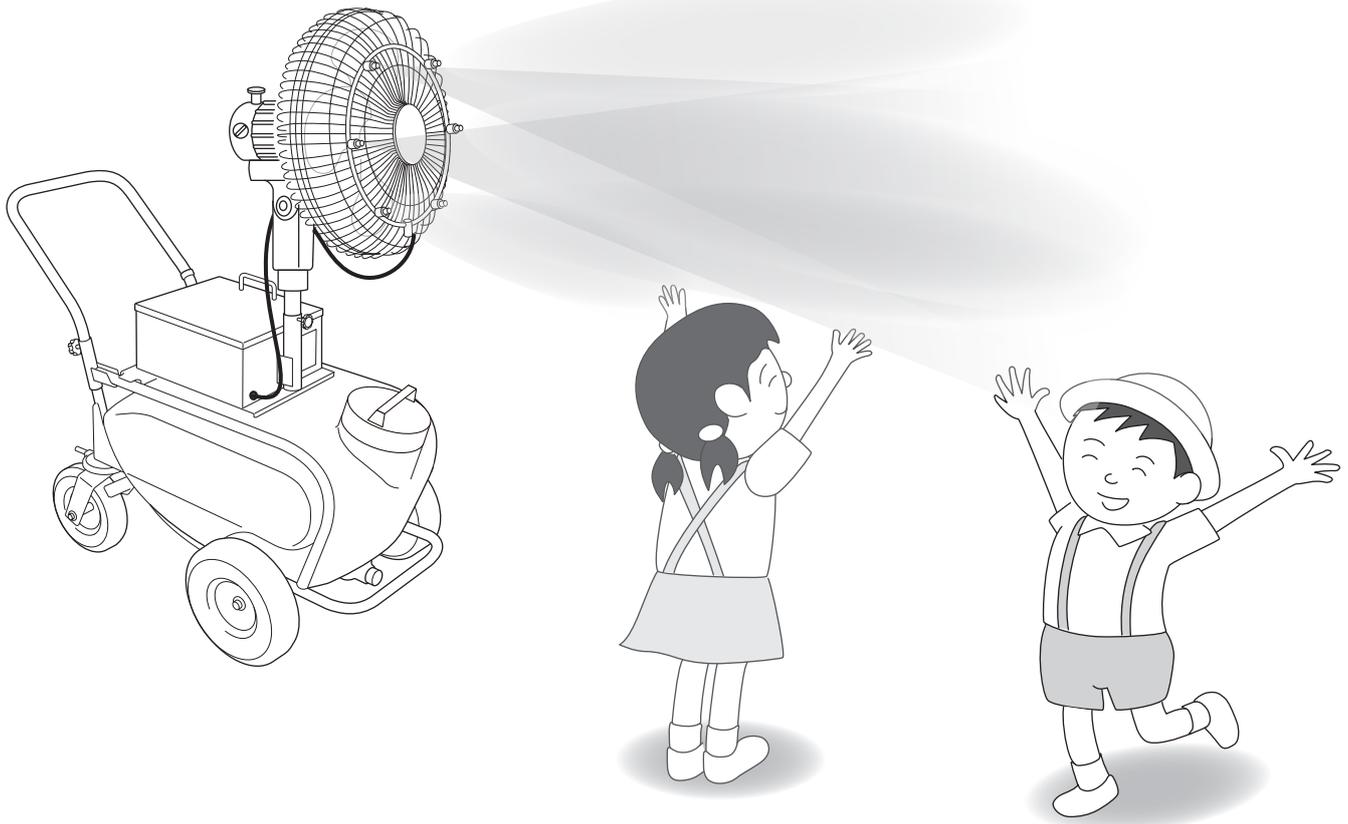


CLJ-CSA

高圧ポンプ搭載移動タンク式フォグファン



取扱説明書

このたびは、お買い上げいただき、誠にありがとうございます。
「取扱説明書」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
お読みになったあとは、大切に保管してください。

もくじ

安全上のご注意	1	水抜きと保管方法	9
商品内容をお確かめください	2	部品の清掃と交換	10
組み立て方法	3	ポンプのメンテナンス	12
運転準備	4	こんなときは	13
運転前の注意事項	5	仕様	14
運転方法	5	付録(電気回路図)	14
オイル点検と交換	8		

安全上のご注意

ご使用前に

本説明書では、ご使用者への危害や損害を未然に防ぐための注意事項を「警告」と「注意」に分けてお知らせしています。いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ずお守りください。



警告

取扱いを誤ると、死亡又は重傷などを負う可能性が想定される内容です。



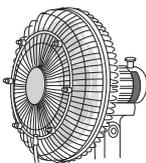
注意

取扱いを誤ると、傷害又は物的損害が発生する可能性が想定される内容です。

警告

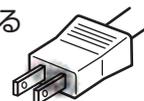
羽根が回転しているとき、指や物を差し込まないでください。

指の切断等の重大事故になります。また、機器の破損にもつながります。



電源プラグの先端にホコリが付いているときは、取り去ってください。

感電やショートによる火災の原因になります。



電源プラグの抜き差しで、運転/停止を操作しないでください。製品が故障します。

運転/停止の操作や設定は、必ずコントローラで行ってください。

電源プラグ・電源コードを傷つけないでください。電源コードに物を載せる、引っ張る、無理に曲げる束ねる、ねじる等の行為はしないでください。

電源コードが断線破損して、火災・感電・怪我・ショートの原因になります。

電源コードのアース線を接地してください。

扇風機の故障、漏電による感電の恐れがあります。

幼児の手の届く場所では使用しないでください。

転倒などによる、感電や怪我の原因になります。

凍結する場所では使用しないでください。

配管の凍結による破損や感電、火災の恐れがあります。

本体に水をかけないでください。

本体内部に水が入り、感電・ショート・火災の原因になります。

モーターやポンプに触らないでください。

高温のため火傷する恐れがあります。

空(水が入っていない状態で)運転しないでください。

本製品はタンク内の水がなくなると自動停止しますが、ポンプの寿命が短くなります。タンク内の水が少なくなったら、水を補給してください。

平らな場所でブレーキをかけてご使用ください。

不安定な場所に設置すると、転倒や不意に動き出し、感電・漏電・故障や怪我の原因になります。

運送時やタンクキャリーを手押しする際に20°以上傾けないでください。

扇風機の首振り機能を使う際は、周囲に障害物がないことを確認してください。怪我や事故の原因になります。

腐食性ガス、粉じんなどが発生する場所で使用しないでください。故障して、感電や火災の原因になります。

分解や改造をしないでください。

発火や異常作動による、火災・感電・怪我の原因になります。修理はお買い上げの販売店にご相談ください。

注意

振動、羽根が回らない等の異常時には使用を中止してください。感電、火災の恐れがあります。

AC100V以外では使用しないでください。

火災・感電の原因になります。

内蔵タイマー以外のタイムスイッチを接続しないでください。

本製品は、運転/停止時間を制御するためのタイマーを内蔵しています。運転/停止時間は必ず内蔵タイマーで設定してください。外付けのタイムスイッチを接続すると、本製品本来の機能に支障を来す恐れがあります。また、定期的なメンテナンスの目安時期を確認する積算時間も正確に計測できなくなります。

火気の近くや高温の場所に設置しないでください。

感電・漏電、変形の原因になります。

使用時以外は電源プラグをコンセントから抜いてください。

絶縁劣化による感電・漏電、火災の原因になります。

電磁波を発生する機器・設備の近くには設置しないでください。

正常に動作しない原因となることがあります。

電源を抜くときは、電源プラグを持って外してください。

電源コードを引っ張ると、感電、ショート、断線で発火することがあります。

- ・本機は防爆仕様ではありません。
- ・腐食性や爆発性のある液体は使用しないでください。
- ・保守、点検、修理は知識、技能を持った人が作業してください。
- ・異常が発生した時には、直ちに運転を停止してください。

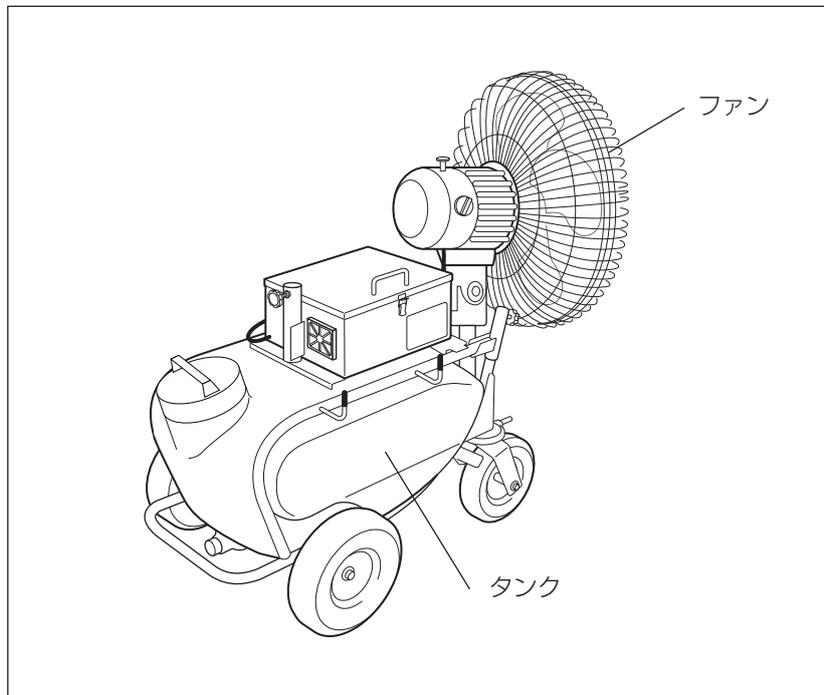
- ・電源プラグの接続は確実に行ってください。
- ・周囲の状況に応じて危険予知に心がけてください。
- ・各スイッチのOFFを確認してから電源プラグを差し込んでください。

商品内容をお確かめください

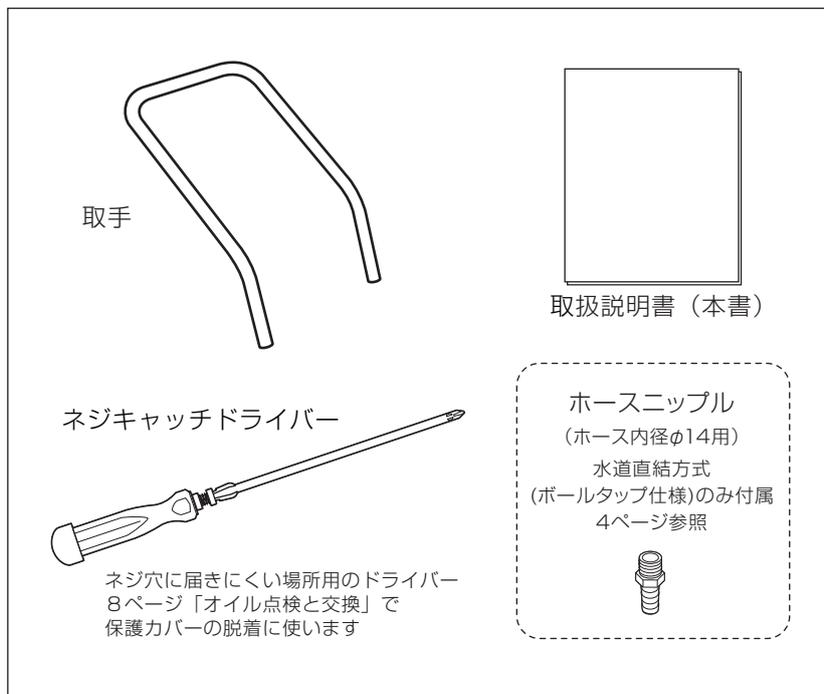
商品の中身をお確かめください。

万一不足している部品がありましたら、お買い上げの販売店にご連絡ください。

お届け時は、本体部分はこのような梱包状態になっています。



付属品

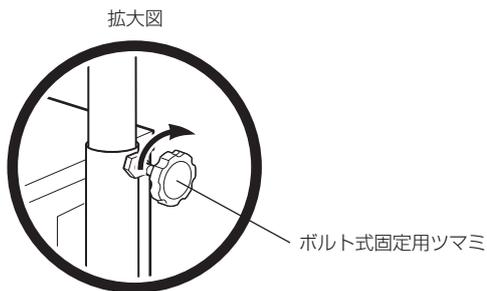


組み立て方法

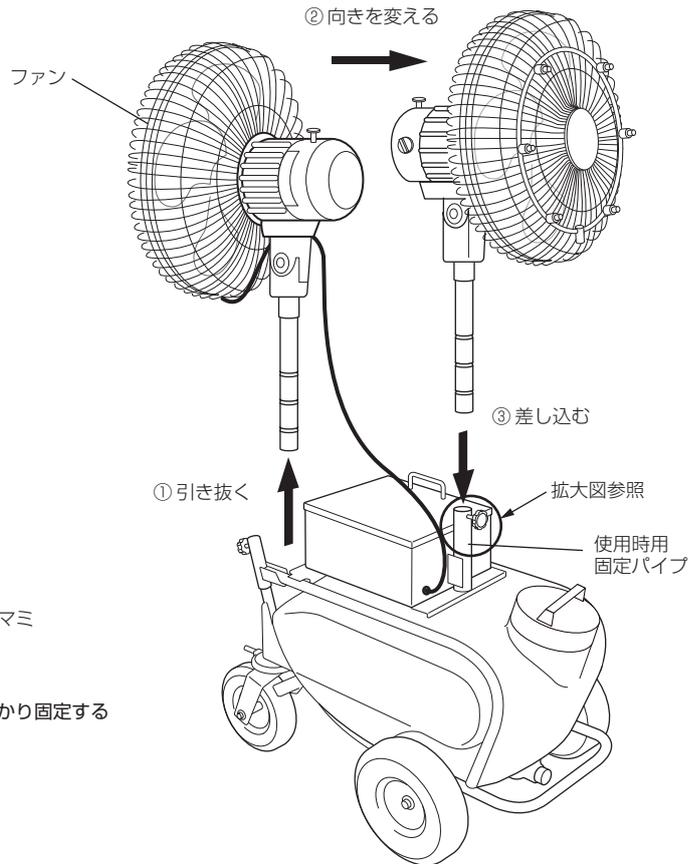
ファンのセット方法

ファンを上方向に引き抜き、向きを変えて、使用時の固定パイプに差し込んでください。

ファンが動かないように、ボルト式固定用ツマミでしっかりと固定してください。



④ ボルト式固定用ツマミを回して、ファンをしっかりと固定する

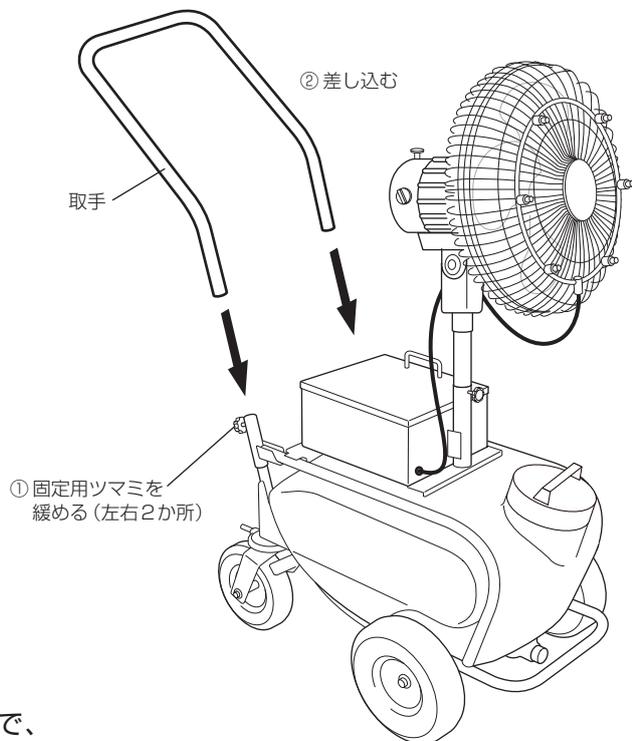
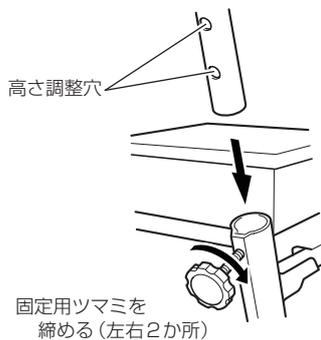


取手のセット方法

右図の固定用ツマミ(左右2か所)を緩めて付属品の取手を取手固定パイプに差し込んでください。

取手の後ろ側には取手の高さが調整できるように2か所の穴が空いています。

取手を差し込んだあと、お好みの高さの穴の場所で固定用ツマミを締めてください。



注意 ⚠

取手の穴にツマミのネジを通すことで、取手の抜け止めの役割を果たしています。必ず取手の穴に合わせて固定用ツマミを締めてください。

運転準備

給水方法

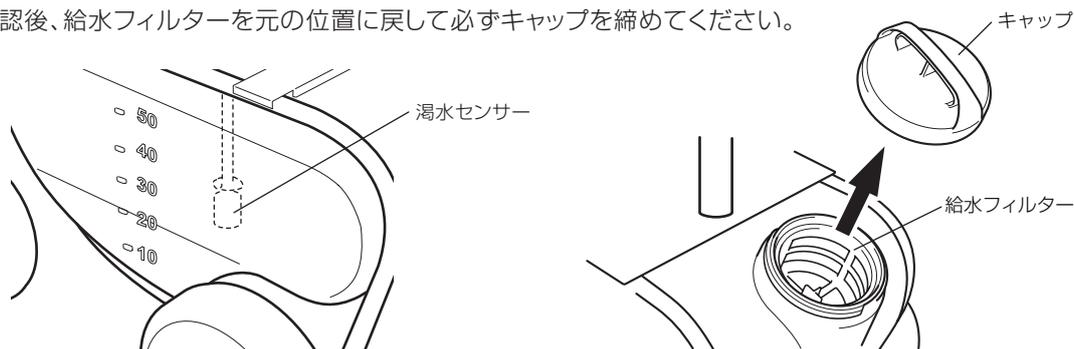
タンク貯水方式

タンク容量は50ℓです。タンク前方のキャップを開けて、ホース等で水道水を給水してください。
タンク側面の目盛を見ながら、50ℓを上限に給水してください。

注意 ⚠ 給水口からゴミやホコリが入らないようにするために、
給水の際は、給水フィルターを外さないでください。

注意 ⚠ 湯水センサーが真っ直ぐ下に降りているか、給水口から内部を確認してください。
(このときは、給水フィルターは外してください。)

湯水センサーを確認後、給水フィルターを元の位置に戻して必ずキャップを締めてください。



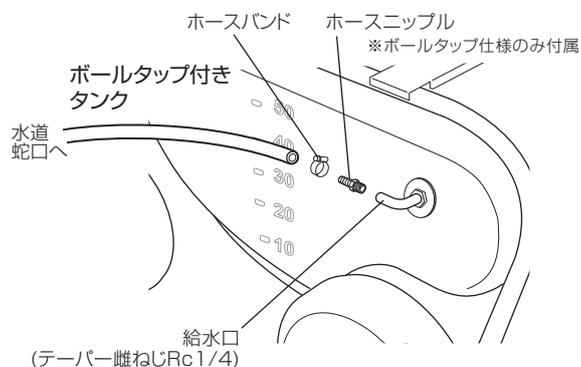
注意 ⚠ 本製品は、タンク内の水が6ℓ以下になると自動的に運転を停止します。
水道水は50ℓの満水付近まで給水してください。6ℓ以下の給水では動作しません。

注意 ⚠ 給水の際は、ファンモーターやポンプユニットボックスに水がかからないように注意してください。

水道直結方式(ボールタップ仕様)の場合

ボールタップ付きタンクでは、水道の蛇口とタンク側面の給水口をつなぐことで自動給水が可能です。
内径φ14のホースとの接続用にホースニップルを付属しています。
ボールタップを内蔵していますので、適量の水が溜まると自動的に給水が停止し、水量が少なくなると、自動的に給水します。

注意 ⚠ 安全のため、ホースの固定にはホースバンドをお使いください。



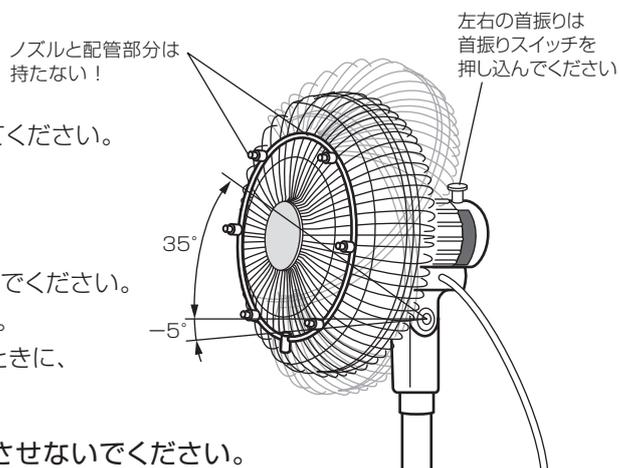
ファンの上下方向調整

ファンの上下方向の風向きは、 -5° 、 0° 、 20° 、 35° の4段階の角度調節ができます。運転を始める前に、お好みの角度に調節してください。

ファンの首振りと左右方向調整

ファンの左右の首振りは、モーター部の首振りスイッチを押し込んでください。
首振りを止めるときは、首振りスイッチを上引きしてください。
一定方向で固定したいときは、首振り状態で希望の方向になったときに、首振りスイッチを上引きしてください。

注意 ⚠ ノズルや配管部分、ファン部分を無理に回転させないでください。
ファンやノズルが破損します。



運転前の注意事項

据え付け場所について

屋内仕様です。屋外及び粉じん、腐食性ガス、可燃性ガスがある場所や、電磁波を発生する機器・設備の近くでは使用しないでください。0.5G以上の振動加速度が商品に加わる状態での使用はおやめください。

周囲温度 0～40℃

周囲湿度 0～80%RH

設置上の注意

- 水がかからない場所で使用してください。
- ファンの吸込口、吹出口に障害物を置かないでください。
- 結露しないように、噴霧時間を調節してください。
- 噴霧方向に電子機器などの遮へい物を置かないでください。故障・サビの原因になります。
- 水平な場所で使用してください。

電源コードについて

- 電源コードは乱暴に扱わないでください。
- 電源コードを持って本製品を移動させないでください。
- 電源コードを引っ張ってコンセントから抜かないでください。
- 電源コードの上に重い物を乗せないでください。
- 電源コードを熱が加わる所に近づけないでください。
- 電源コードに酸やアルカリ・油・水がかからないようにしてください。
- 電源コードを角ばったところに当てないでください。
- 電源コードのアース線を必ず接地してください。

噴霧ノズルについて

- 水道水以外は使用しないでください。汚れた水はノズルの目詰まりの原因になります。
- 通水時には圧力がかかっています。ノズルやホースを脱着するときは、コントローラーの **STOP** を押し、ポンプを停止させてから作業してください。
- 通水しないときは内部の水を抜いてください。
- 凍結しないよう注意してください。

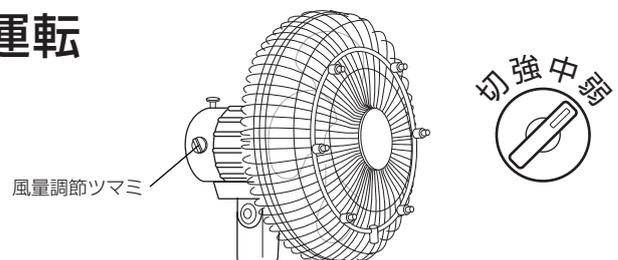
運転方法

ご購入後の最初の運転やシーズン初め等、長期間停止後に運転する際は、最初に高圧ポンプの内部を満水にして、中の空気を抜く必要があります。次の要領で準備してください。

最初の運転とシーズン最初の運転

電源プラグをAC100Vコンセントに差し込むと最初にポンプユニットボックスの内部が作動します。

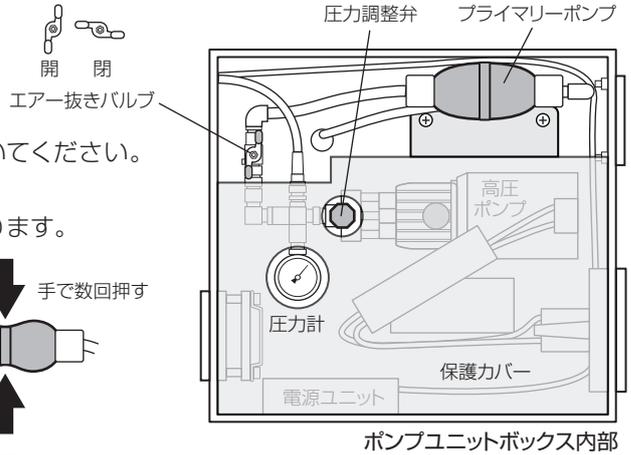
ファンの風量調節ツマミを「弱」にしてください。この時点でファンが回り始めます。



呼び水

呼び水は、高圧ポンプ内を満水にするための作業です。

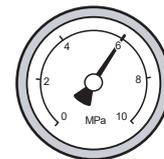
- ① ポンプユニットボックスを開けて、エア抜きバルブを開けてください。
- ② プライマリーポンプを手で数回押してください。
ポンプは強く押さないでください。水が噴き出す恐れがあります。
何回か押すうちに押す力が少し重くなります。
そのまま数回押すと高圧ポンプの中のエアが抜けて満水状態になります。
- ③ エア抜きバルブを閉じてください。
ポンプ内のエアが抜けて満水状態になり、噴霧が可能になります。
- ④ ポンプユニットボックス背面にあるコントローラーの **RUN** を押すと噴霧が始まります。圧力計が6MPaを示していることをご確認ください。



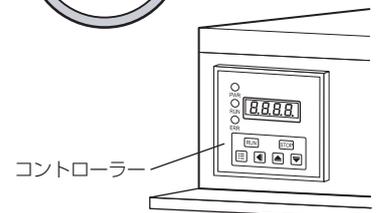
噴霧が始まらないときは、コントローラーの **STOP** を押して、再度上記①～④の操作を行ってください。



圧力が6MPaまで上昇しないときは、ポンプ内にエアが残っている可能性があります。噴霧した状態で、エア抜きバルブを数回開閉してください。エアが抜けて6MPaに上昇します。



圧力計は6MPaが正常



コントローラー
ポンプユニットボックス背面

注意 ⚠ エア抜きバルブを閉じた状態でプライマリーポンプを触らないでください。ポンプが破損する恐れがあります。

連続運転

運転には「連続運転」と「間欠運転」があります。

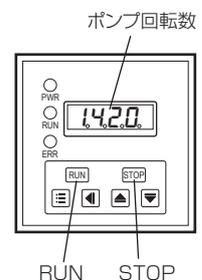
連続運転は、コントローラーの **RUN** を押すとスタートし、**STOP** を押すまで噴霧します。
噴霧が始まったら、部屋の広さに応じてファンの風量調節ツマミの風量を調節してください。
連続運転中はコントローラーにポンプの回転数が表示されます。
エラー表示のとき以外は、特に表示に注意する必要はありません。

注意 ⚠ 必ずファンを先に運転してください。ポンプを先に運転すると、ノズルから水や粗い霧の粒が垂れる恐れがあります。

注意 ⚠ ポンプは最適な回転数に設定しています。給水不良を起こす恐れがありますので、運転中に数値を変更しないでください。

注意 ⚠ 圧力調整弁はむやみに触らないでください。本製品は最適圧力に調整しています。

警告 ⚠ 運転中は、ファンモーターやポンプユニットボックスが高温になります。ファン部やポンプユニットボックスを触らないでください。



1分以内での電源ON/OFFの繰り返しはおやめください。製品寿命を縮めます。

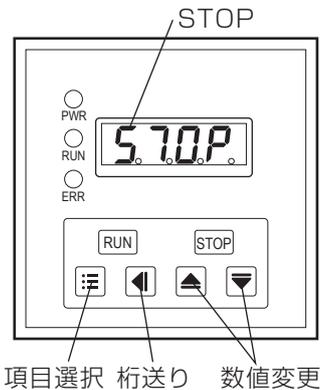
間欠運転

コントローラーの設定は、本書に記載している内容以外に変更しないでください。
注意 ⚠ 正常な動作をしなくなる恐れがあります。
万一、誤って変更した場合は、直ちにお買い上げの販売店にお問い合わせください。

間欠運転は、時間を設定することで噴霧と休止を繰り返すことができます。
休止中もファンは回り続け、噴霧だけが停止します。

間欠運転の設定は「STOP」が表示されている状態で操作してください。

- ①「項目選択」を押すと「FC-A」(FC-A)が表示されます。
もう一度を押すと「A-01」(A-01)が表示されます。
「A-01」で噴霧時間(秒)を設定します。
- ②もう一度を押すと初回設定の際は「0060」(0060)が表示されます。
「0060」は60秒間噴霧することを表しています。
この数字を変えることで噴霧時間が変更できます。
- ③いずれかの数字が点滅していますので、「桁送り」を押して
変更したい数字のところに点滅を移動させ、数値変更の又はで、
お好みの噴霧時間に設定してください。
例. 5分間噴霧→60秒×5分→「0300」と入力
- ④を5秒間長押しすると、表示が「STOP」に変わって噴霧時間が保存されます。



A-01 = 噴霧時間設定
A-02 = 休止時間設定



1分以内での噴霧と休止の繰り返しはおやめください。製品寿命を縮めます。

- ⑤次にを2回押すと(FC-A)→(A-01)→を1回押すと(A-02)に表示が切替わります。
「A-02」では休止時間(秒)を設定します。
- ⑥噴霧時間と同様にを押して時間を表示させ、で変更したい数字のところに点滅を移動させて、
又はでお好みの休止時間に設定してください。
- ⑦最後にを5秒間長押しすると表示が「STOP」に変わって、休止設定時間が保存されます。
「A-01」と「A-02」を設定した以降は、を押すと間欠運転がスタートします。
間欠運転中は、噴霧/休止の残り時間が表示されます。
連続運転に戻すときは「A-02」を0000に設定してください。休止時間が無視されて、連続運転になります。



間欠運転でA-02を設定しなかった場合は、連続運転モードになります。

注意  内蔵タイマー以外のタイムスイッチを接続しないでください。
メンテナンスの目安時期を確認する積算時間が正確に計測できなくなります。

運転停止

コントローラーのを押してから、風量調節ツマミを「切」にしてください。

注意  必ず先にを押してください。先にファンを止めると、
ノズルから水や霧の粗い粒が垂れる恐れがあります。

電源コードは最後にコンセントから外してください。

注意  を押す前に電源コードを外すと、それまでの積算時間が
正確に計測できない場合があります。



積算時間の確認方法

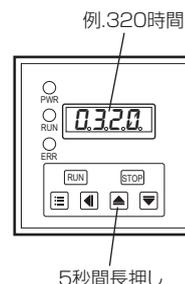
積算時間は、使い始めからのポンプの累計稼働時間を表します。

潤滑オイルや部品の交換、メンテナンスの確認に積算時間を用いますので、定期的にチェックしてください。

積算時間の確認作業は、一度ポンプを運転し、を押してから行ってください。
ポンプを運転する前では、正確な積算時間が表示されません。

の表示を確認したあと、を5秒間長押しすると、積算時間が表示されます。

確認を解除するにはを押してください。



オイル点検と交換

ポンプには、潤滑オイルを使用しています。

潤滑オイルは、一回目は1000時間で交換し、そのあとは2000時間ごとに交換してください。



オイルが白く濁ったり汚れている場合も、速やかに新しいオイルと交換してください。

オイルがなくなるとポンプの焼付きや駆動部の摩耗による故障の原因になります。

オイルの残量は小まめにチェックして、適宜補充してください。



運転直後はポンプ及びオイルが高温のため、やけどの恐れがあります。

ポンプが停止しているのを確認したあと、熱を十分に冷ましてからオイルを交換してください。

オイル残量の確認方法

オイルの量はポンプ内の半分まで満たされた状態が適量です。

オイル量はオイルチューブでご確認いただけます。

ポンプユニットボックスを開け、付属のネジキャッチドライバーで右図の2本のネジを外して、保護カバーを取り外してください。

注意 正確なオイル残量を測るために必ずキャップを外して確認してください。

フックからオイルチューブを外し、オイルチューブを垂直に持ち上げた状態でキャップを外してください。

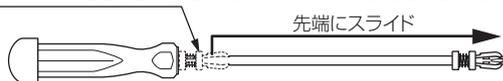
オイルチューブ内のオイルの液面高さがポンプ内のオイルの量を示しています。

オイル残量を確認後は、保護カバーを元の状態に取り付けてください。

ネジの取り付けについて

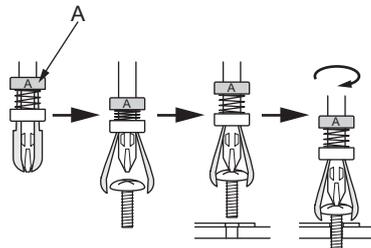
ネジキャッチドライバーでネジを挿んでネジ穴を狙って差し込みます。

①ネジキャッチ部分をドライバーの先端までスライドさせます。

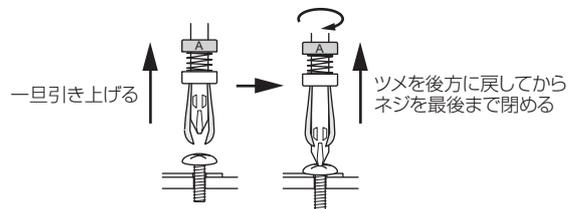


②A部をスプリングを縮めるように押し下げると、先端のツメが開きます。

この状態でドライバーにネジを装填し、A部を戻すとネジが挿めれます。そのままネジ穴に差し込んで途中までネジを絞めてください。



③一旦ドライバーを引き上げ、ツメを後方に戻して再度ネジを強く閉めてください。



オイルの補充

注意 オイルを補充する際は、必ず電源プラグをコンセントから外してください。

油量が少ないときはオイルキャップを開けてオイルを補充してください。

ポンプ内の適正なオイル量は約20ccです。オイルがほとんどない状態でも、

補充量は20cc以内となりますので、現状の油面高さに応じて適量のオイルを補充してください。

オイルの入れ過ぎにご注意ください。運転中にオイルが吹き出る原因になります。

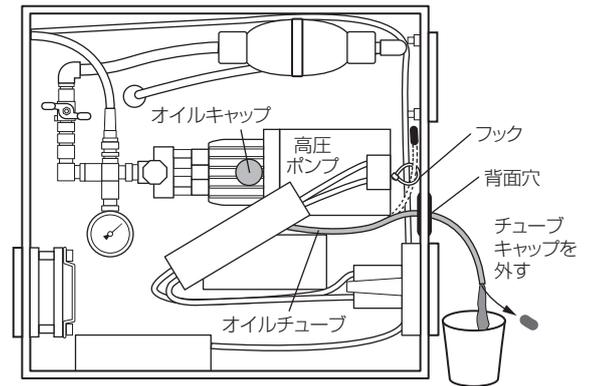
使用オイル:SC級SAE10W-30



オイル量の確認後やオイルの補充、交換後は必ずキャップをはめてオイルチューブを元のフックに通して固定してください。

オイルの交換

- ① オイル残量の確認と同じ方法で保護カバーを外してください。
- ② オイルキャップを外してください。
- ③ オイルチューブをフックから外してポンプユニットボックス背面の穴からチューブの先端を出してください。
- ④ 容量約50ccの適当な容器でチューブの先を受けながら、チューブ先端のキャップを外して、オイルを抜いてください。
- ⑤ キャップをはめて、オイルチューブをフックに戻してください。
- ⑥ 約20ccの新しいオイルを入れてください。
- ⑦ オイルキャップを閉め、保護カバーを元通りに取り付けてください。



注意 ⚠️ オイルが少な過ぎるとポンプが焼き付きます。
 オイルが多過ぎると、運転中にオイルが
 吹き出ることがあります。

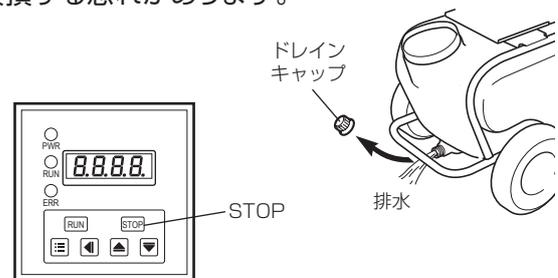
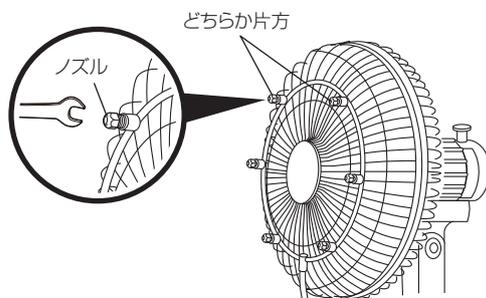
水抜きと保管方法

警告 ⚠️ シーズン終了後は冬場の凍結等で、保管中にポンプやノズルが破損する
 恐れがあります。長期保管のためのメンテナンス作業を必ず行ってください。

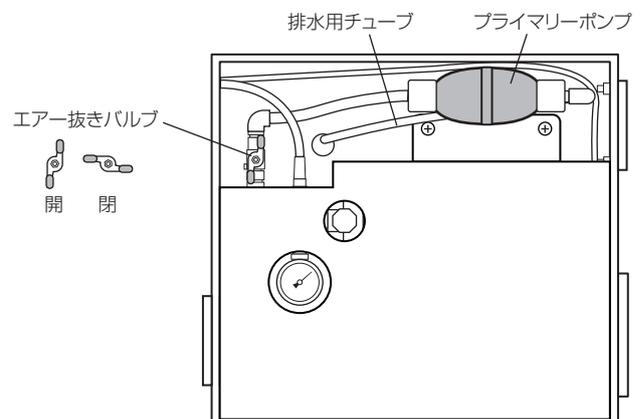
水抜き

長期間使用しないときは、ヘッダーや耐圧ホース、ポンプ、タンク内の水を全て排水してください。
 特にポンプの水抜きは重要です。冬場の凍結でポンプが破損する恐れがあります。

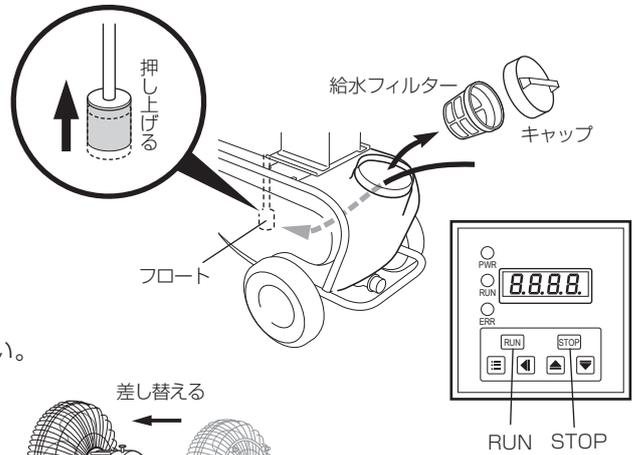
- ① 前面下部のドレインキャップを外して排水してください。
- ② コントローラーの **STOP** を押してポンプを停止させた状態でエア抜キバルブを開いてください。
- ③ ファンに付いている6個のノズルの内、上側2個のどちらか片方を14mmのスパナで取り外してください。



- ④ プライマリーポンプを押してください。
 排水用チューブから水が排出されます。
 水が完全に排出されるまでプライマリー
 ポンプを複数回(約15回)押してください。
- ⑤ 取り外したノズルを元どおりに取り付けてください。

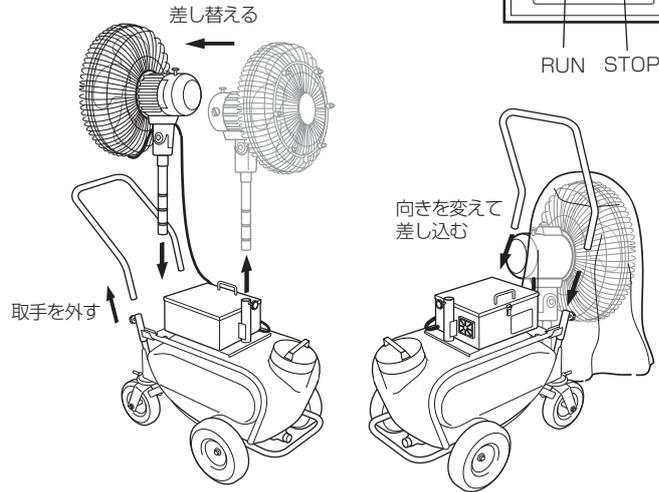


- ⑥ タンク前面のキャップを開けて、給水フィルターを取り出してください。
- ⑦ 内部に手を入れて濁水センサーのフロートを押し上げながら **RUN** を押ししてください。3~5秒で水抜きが完了します。フロートを放すとポンプは自動停止しますので **STOP** を押しして終了してください。
- ⑧ エアー抜きバルブを閉じてください。
- ⑨ 排水後は乾いた布でタンク内部の水気を拭き取ってください。
- ⑩ 最後に給水フィルターを戻してキャップとドレインキャップを閉めてください。



4.保管方法

一旦取手を外し、3ページのファンのセット方法と逆の要領でファンを差し替えたあと、取手の向きを変えて差し込んでください。
ファン部にポリ袋等を被せ、温度・湿度の変化が少なく、振動や粉じんのない屋内の場所に保管してください。



部品の清掃と交換

ノズル交換とノズルストレーナーの清掃

ノズルは消耗品です。
霧の出方が下の図のようになったときは、ノズル交換又はノズルストレーナーを洗浄清掃してください。

交換品ご注文時の品名

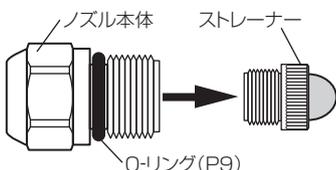
品名	涼霧ノズルII(S316) (#229439)
----	----------------------------



交換または清掃後の取り付け方法

- ① ノズルは14mmのスパナで取り外して清掃又は交換ください。
- ② ノズルを取付ける際は、必ず先に配管内を通水し、異物を洗い流してください。
- ③ Oリングに異物が付着していないか確認してください。
- ④ ノズルを手で配管口にねじ込み、スパナで増し締めしてください。(推奨トルク5~10N・m)

清掃方法



- ① ストレーナーを外す。
- ② エアブロー等で、ストレーナーの異物を除去する。
- ③ ストレーナーを元の位置にはめる。(作業中、異物が入らないように注意してください)

タンク側フィルターの清掃と交換

本製品はノズルストレーナー以外に、タンクのゴミやホコリを吸い上げないためにタンク内部にもフィルターを設けています。フィルターの汚れや目詰まりは製品性能に影響を与えますので、定期的に洗浄清掃してください。

タンク側フィルターの清掃方法

① タンクのキャップを開けて給水フィルターを外してください。

注意 ⚠ 給水フィルターが汚れているときは水洗いしてください。

② タンクに手を入れて、チューブに付いたままフィルターを引き出してください。

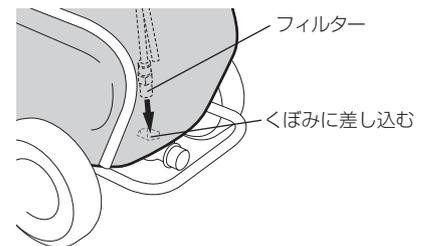
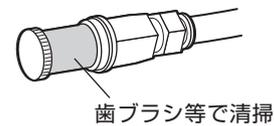
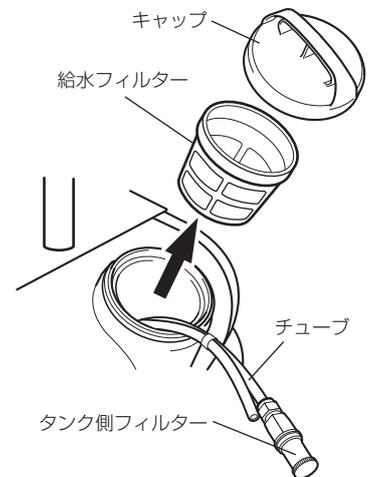
注意 ⚠ チューブはゆっくり引き出してください。
無理に引っ張ると、中で抜けてしまう可能性があります。

③ 歯ブラシなどでフィルターを水洗い清掃してください。
チューブが付いたままで清掃しにくいときは、下記のフィルター交換と同様の方法でフィルターを取り外して清掃してください。

注意 ⚠ フィルターの洗浄に金属系ブラシは使わないでください。
傷の原因になります。

歯ブラシを使っても汚れが落ちないときは、フィルターの交換が必要です。
交換用フィルター(品番:#288101)をご用命ください。

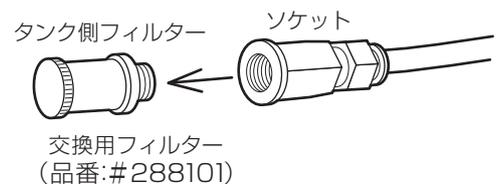
④ タンク内部のドレイン用のくぼみにフィルターを差し込み、
給水フィルターをはめてキャップを閉めてください。



タンク側フィルターの交換方法

タンク側の交換用フィルターは品番#288101をご用命ください。

タンク側フィルターはネジ式です。
ソケットから外して交換用フィルターに取り替えてください。
交換用フィルターを取り付ける際は、
ネジが緩まないように、手でしっかりと締めてください。

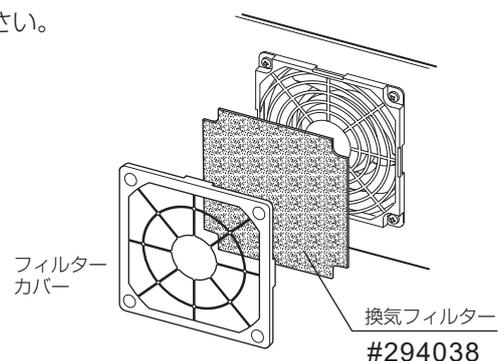


換気フィルターの交換

換気フィルターが汚れてくると冷却能力が下がります。
換気フィルターは水洗いできません。
目詰まりや劣化がみられる場合は、フィルターを交換してください。
フィルター交換の目安は6か月ですが、使用状況によって劣化の度合いが異なります。
高温高湿の環境下ではフィルターが特に劣化しやすくなりますのでご注意ください。
交換用換気フィルターは、お買い上げの販売店又は弊社窓口にご用命ください。

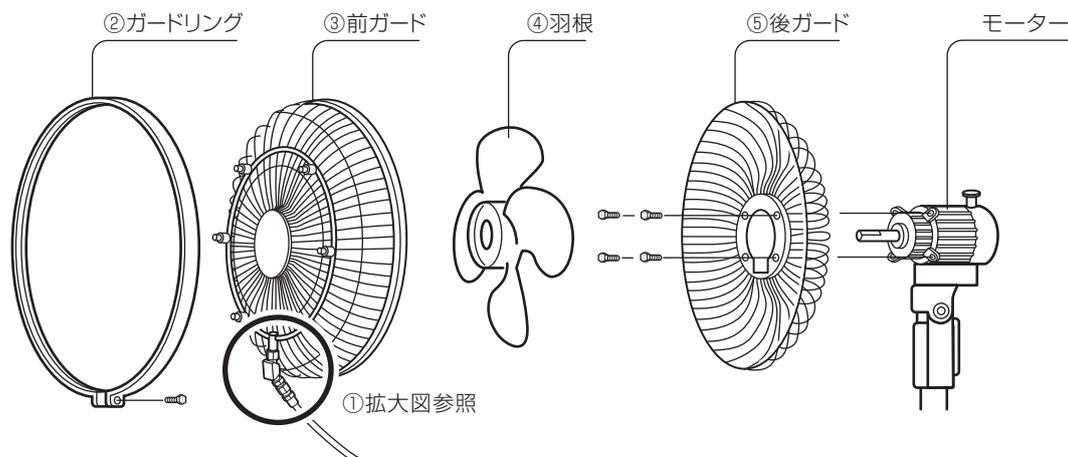
交換用フィルター 品番#294038 (2か所使用)

換気フィルターは、吸気用ファンの外側と、
ポンプユニットボックスの反対側の排気用単体フィルターがあります。
どちらのフィルターも交換方法は同じです。
フィルターカバーを外して交換用フィルターに取り替えてください。
フィルターカバーははめ込み式です。手で簡単に取付・取外しができます。

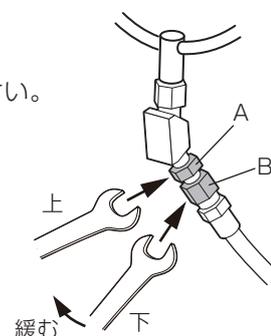


扇風機部の清掃

羽根を掃除するときは、必ず電源プラグを抜いてから、次の要領で扇風機部分を分解してください。



- ① 右の拡大図のように14mmのスパナを2本使って、チューブ継手とホースを外します。
上のスパナでAのナットを固定しながら、下のスパナでBのナットを緩めて外してください。
- ② ガードリング下側の固定用ネジを緩めて、ガードリングを外してください。
- ③ 前ガードは後ガードに嵌め込まれています。
そのまま前に引くと、前ガードが外れます。
- ④ 羽根はモーターシャフトの側面にネジ止めしています。
ネジを緩めると、羽根が外せます。
- ⑤ 後ガードも外す場合は、モーターに固定している4本のネジを外してください。



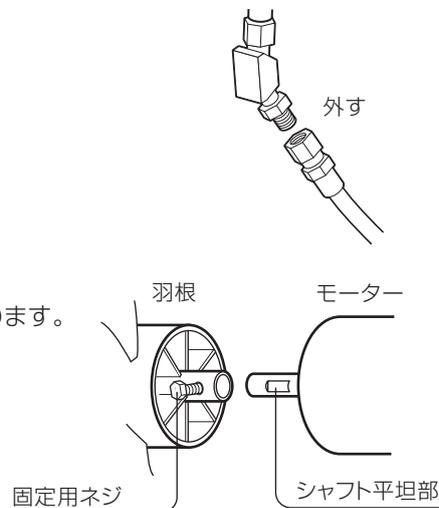
羽根やガードの汚れは、柔らかい布を中性洗剤を溶かしたぬるま湯に浸して、
強く絞ってから拭いてください。
その後乾いた布で洗剤が残らないように拭き取ってください。

扇風機部を組み立てる際は、上記と逆の手順で行ってください。

羽根をモーターシャフトに取り付ける際は、固定用ネジの先端が
モーターシャフトの平坦部分に当たるように、方向を調整して差し込み、
ネジをしっかりと締めてください。

取り付け前にモーターシャフトに少量の油をつけると羽根が入りやすくなります。
可動部分への注油は不要です。

モーター表面のホコリは、掃除機で吸い取ってください。



警告 ⚠️ モーター部分は絶対に分解しないでください。

注意 ⚠️ 中性洗剤、化学雑巾等の使用は、それらの商品の注意事項に従ってお使いください。

ポンプのメンテナンス

ポンプにも寿命があります。使用状況で異なりますが、約2,000時間ごとに消耗部品の交換等、定期的なメンテナンスが必要です。7ページに記載の、使い始めからの積算時間を定期的にご確認いただき、メンテナンス時期をご検討ください。ポンプのメンテナンスは、製品本体を弊社にお送りください。

こんなときは・・・

扇風機について

症 状	ご確認ください	対処方法
電源を入れても羽根が回らない	電源プラグをコンセントにつないでいますか？	電源プラグをコンセントに差し込んでください
	風量調節ツマミが「切」になっていませんか？	ツマミを「弱」などに切り替えてください
	電源が供給されていますか？	電源コードの断線、接続不良を確認してください
モーターは回転しているが、羽根の回転が遅い	羽根の固定ネジが緩んでいませんか？	羽根の固定ネジを増し締めしてください
羽根の回転が止まった	本体のサーマルプロテクタが作動していませんか？	サーマルプロテクタはモーターへの過負荷によって作動します。一旦電源を遮断して、原因を取り除いてください
	ガードの中に異物が入っていませんか？	電源プラグを抜いて、異物を取り除いてください
羽根が回転するとき、異音や振動がする	ガード固定ボルトが緩んでいませんか？	電源プラグを抜いて、ボルトを増し締めしてください
	設置場所が不安定・脆弱・傾斜・振動している場所ではありませんか？	電源プラグを抜いて、適正な設置場所に移設してください

ノズルについて

症 状	ご確認ください	対処方法
霧が出ない	エア抜きバルブが開いたまま	エア抜きバルブを閉じてください
	ノズル、ストレーナーの目詰まり	ノズル内のストレーナーとタンク内のストレーナーを掃除してください。直らないときは、ノズル又はストレーナーを交換してください(10ページ参照)
ノズルから水滴が落ちる	霧の出口付近の異物付着	霧の出口を柔らかい布で拭いてください 直らないときは、ノズルを交換してください
水漏れがする	ノズルの緩み	スパナやレンチでノズルを増し締めしてください 強く締めすぎると破損することがあります 5~10N・mのトルクで締め付けてください

コントローラーのエラー表示

症 状	ご確認ください	対処方法
エラー3(Err3)	湯水センサーが傾いていませんか？	湯水センサーを垂直に直してください
	給水不足ではありませんか？	タンクに水を補充してください
※ エラー1、2、4~9 又は0000	(電子レンジ等から発生する電磁波などの) ノイズの影響はありませんか？	STOP を押して「STOP」表示にしてから ノイズの影響がない場所に本品を移動してください

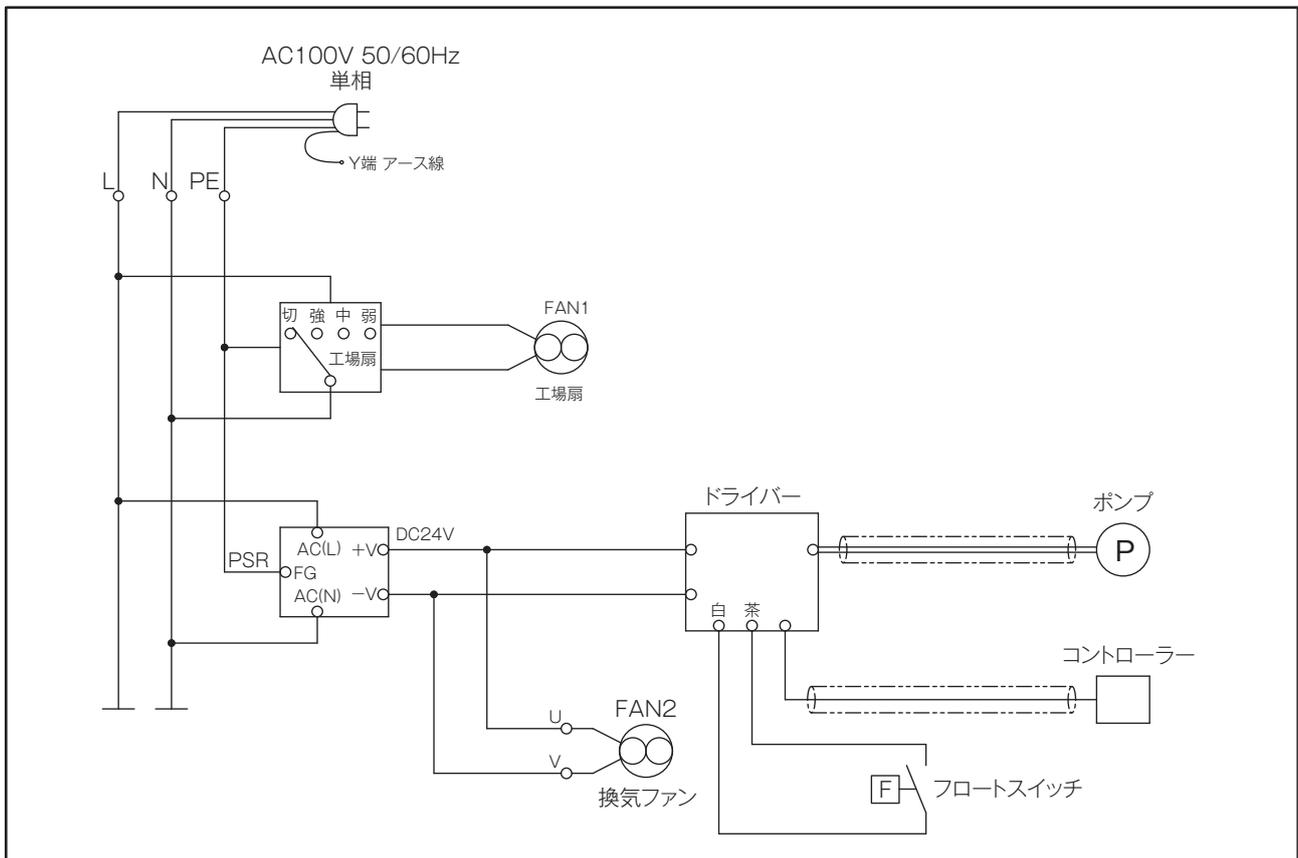
※環境によって(Err1)、(Err2)、(Err4)~(Err9)、(0000)の異なるエラーが表示されますが、全てノイズが起因する症状です。

仕 様

項 目	仕 様
定格電源電圧	AC100V 平型2芯プラグ(アース付)
周 波 数	50/60Hz
消 費 電 力	210/250W(ファン風量「強」)
ファン送風量	165/186m ³ /分(ファン風量「強」)
首 振 り 角 度	75°
噴 霧 量	14.2ℓ/時間(6MPa時)
タンク容量	50ℓ(満水で約3時間運転可能)
自動運転停止機能	湯水センサー付き
ノズル	涼霧ノズルII (S316) 6個
質 量	44 kg(通水前)
外形寸法	W575×D1,020×H1,320~1,400mm
扇風機モーター保護装置	<ol style="list-style-type: none"> 1.モーター過負荷状態が発生したとき、自動的に電源を遮断して、モーターの焼損を防止します。 2.モーター保護装置が作動して、モーターの回転が停止したときは電源プラグをコンセントから抜き、原因を取り除いてください。 3.モーター保護装置作動の原因は羽根の空回りや、羽根へのゴミの付着、電源異常などです。 4.モーター保護装置は、作動後数分で自動解除されます。原因を取除いた後しばらく放置し、電源プラグをコンセントに差し込んで運転を再開してください。 5.原因を取り除いても運転できない場合は、危険ですのでむやみに分解せず、販売店にご連絡ください。

機能更新のため、予告なく仕様変更する場合があります。ご了承ください。

付録(電気回路図)



株式会社 **いけうち**
<https://www.kirinoikeuchi.co.jp/>

〒550-0011 大阪府大阪市西区阿波座 1-15-15 第一協業ビル
Tel : 0120-997-084 Fax : 06-6538-4023 E-mail : mist@kirinoikeuchi.co.jp

各地の営業所情報はこちらをご参照ください。

<https://www.kirinoikeuchi.co.jp/company/location/>